言語処理工学 A 中間テスト

2013年12月20日 井上克郎

ノート教科書持ち込みなし。[1]は解答用紙表紙、[2]は折りたたんだ内側 2 枚に、[3] は裏表紙に解答を書くこと。間違った場所に書いた場合は**減点する**。

[1]以下の問いに答えよ。

- ① ある機能 f を実現する C 言語のプログラム f_C が、計算機 M の上で動く C 言語のセルフコンパイラ CC_{MM} でコンパイルされる様子を T 図で示せ。
- ② $M \ \ \, CC_{MM}$ を用いできるだけ簡単に、別の計算機 N の上で動くセルフコンパイラ CC_{NN} を開発したい。この開発過程を T 図で書け。

(10 点×2)

[2] 次の文法 G について答よ。

文法 G (1) E \rightarrow E + T

(2) $E \rightarrow T$

(3) $T \rightarrow T * i$

 $(4) T \rightarrow i$

- ①E'を開始記号とした拡張文法 G'を示せ。(追加した文法を(0)とせよ)
- ②G'の各非終端記号の follow 集合を求めよ。
- ③G'の正準 LR(0)集成を求めて、LR(0)オートマトンの表を書け。
- ④LR 構文解析表を書け(縦に状態 0,1,…,横に記号+,*,i,\$,E',E,T をこの順に書くこと)。
- ⑤入力文字列 i+i*i\$ の構文解析過程を示せ。
- ⑥その構文解析木を示せ。

(10 点×6)

[3] 次の文法 G は LL(1)か、理由をきちんと説明して答えよ。また、そうでないなら、どうすれば LL(1)になるか、説明せよ。

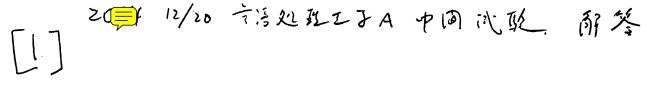
 $G: (1) S \rightarrow A$

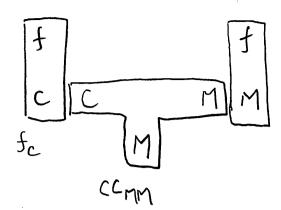
 $(2) A \rightarrow t$

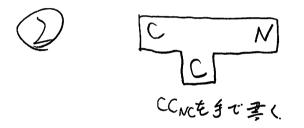
 $(3) A \rightarrow B$

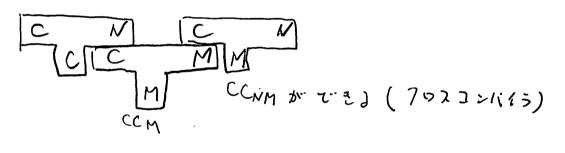
(4) $B \rightarrow t x$

(20点)

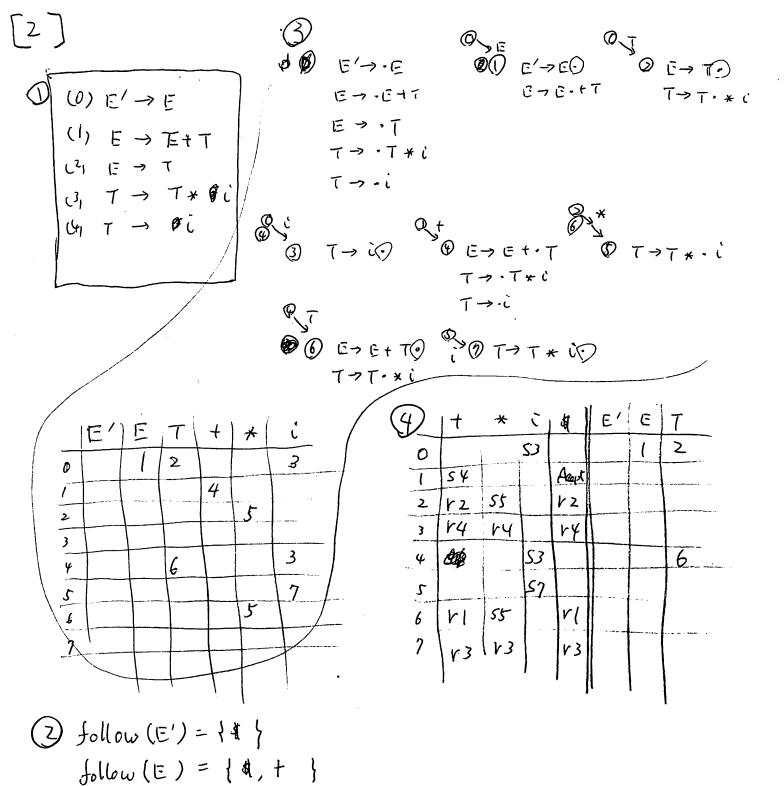








CCNC MICCNN MICCONTESSION.



tollow (T) = {A, +, * }

预折监维 r4 55 ØTZ Ø T 2 * 5 T 2 * 5 i) r3 ØE1 54 Ø E 1 + 4 53 p E 1 4463 41 PE/ (Acopt) (J) (i+i*i# Ø E 1 1414 \$ E 1+4 タミーナチにろ * i \$ タ に 1+4 T 6 55 9121 +4 76*5 i # Ø 12 1 + 4 + 6 * 5 1 7 \$1 13 p = 1447 1000 6 9 = 1 上下近七tok (B)

计生止(1)以下1九岁以过

とけんばない